

**研究機関名：**一般社団法人東松島みらいとし機構、東松島市、大友水産株式会社、大野電子開発株式会社、東北大学、岩手県立大学、早稲田大学、株式会社KDDI総研（総務省：IoTサービス創出支援事業）

**研究の概要：**宮城県東松島市浜市沖で実際に**スマートブイ**をはじめとしたIoTデバイスから得られたデータと気象庁等のオープンデータを**ビッグデータ**としてNICTのテストベッドに取り込み解析や可視化を行う。**IoTで漁獲量を予測**をして漁獲資源の調整も目指す。

定置網漁において海洋ビッグデータを活用した、新しい効率的漁業モデルの実証

○漁獲モデル データに裏付けされた**効率的な出漁と漁獲方法の実現→経験と勘の漁業を進化**

○小売モデル 小規模飲食店が漁業者に直接、**先行予約する新しい海産物産地直送モデル**の構築

**期待される効果・目標：**地域活性化 データに基づくスマートな漁業により、高齢化が進む第一次産業である漁業における若年就労者層の増加 ・地元企業の参画により新しいIoTデバイス関連産業の創出 ・地域定住人口の増加

